

一般社団法人日本粘土学会 2025 年度第 3 回常務委員会議事録

日 時：2025 年 7 月 12 日（土）13:00～14:30

場 所：国際文献社アカデミーセンター4 階会議室および WEB 会議室

常務委員（14 名）：佐藤努、笹井亮、鈴木正哉、中戸晃之、横山信吾、岡田友彦、亀島欣一、渡邊雄二郎、森本和也、佐久間博、小口千明、地下まゆみ、井上紗綾子、手束聡子

監事（2 名）：高木哲一、志々目正高

委任状（1 名）：伊藤健一

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 17 名の過半数 9 名 出席常務委員 17 名で常務委員会の開催は成立

議 題

審議事項

1. 2025 年度事業中間報告（資料 1）

各担当委員より資料をもとに説明があった粘土科学横山編集委員長より、第 63 巻 2 号から第 64 巻 1 号を発行し、第 68 回粘土科学討論会のお知らせを掲載したとの報告があった。Clay Science 岡田編集委員長より、2024 年は受理 7 編のうち 6 編を第 28 巻に掲載し、現在、2024 年に受理した 1 編を加えた 3 編について発刊の準備を進めているとの報告があった。鈴木討論会実行委員長および渡邊シンポジウム企画委員より、第 68 回粘土科学討論会の準備状況について説明があった。森本参考粘土試料委員長より、申込件数 20 件、海外から 3 件であり、例年より多いとの報告があった。佐久間広報委員より、例年通り HP や X の更新を行っていること、本年度も 1 社よりバナー広告を継続して頂いているとの報告があった。亀島渉外委員より、2025 AIPEA Newsletter の原稿を 1 月に提出し受理いただいたこと、AIPEA の規約変更に関する投票のために会員名簿を 5 月に提出したとの報告があった。笹井常務委員長より、2024 年 9 月に学会賞等の表彰式を行ったとの報告があった。また、現在、3 つの研究グループに研究促進の援助を実施しているとの報告があった。地下庶務委員より、JpGU 関連事項として、日本学術会議が秋以降に法人化すること、学術著作権協会への AI 利用委託について学協会で検討されており、JpGU は検討中であることが報告された。井上庶務委員より、会員動向の報告があった。事務局より、会費未納者についてはメールでの連絡および年会費請求に未納分を加えて請求を行っているとの説明があった。

2. 2025 年度会計中間報告（資料 2）

伊藤会計委員に代わり笹井常務委員長より、資料をもとに報告があった。また、審議により、一般会計より 169 万円を 2025 年度の学術積振興積立金繰り入れることが提案され。

3. 2026 年度業務委託契約（資料 3）

事務局より、2025 年 8 月 1 日以降の株式会社 国際文献社との覚書の変更について説明された。変更内容は、業務拡大により総会出張業務の名称を討論会現地派遣へ変更すること、

各種請求書手数料（年会費以外）を変更すること、国際文献社からの直接引落に変更するためレンタルサーバー/ドメイン利用料が加わることが説明された。

4. 2026 年度事業計画（資料 4）

各担当委員より資料をもとに説明があった。粘土科学横山編集委員長および Clay Science 岡田編集委員長より、例年通りの発刊を予定しているとの報告があった。鈴木討論会実行委員長より、第 68 回粘土科学討論会の準備計画について報告があった。第 69 回粘土科学討論会の亀島討論会実行委員長より岡山開催について報告があった。渡邊シンポジウム企画委員長より、第 69 回粘土科学討論会でのシンポジウムの準備状況について報告があった。森本参考粘土試料委員長より参考資料について、佐久間広報委員より広報について、亀島渉外委員より渉外について、笹井常務委員長より表彰および学術振興賞について、地下庶務委員より庶務について、例年どおりの活動を進めることが報告された。笹井常務委員長より、常務委員会および理事会の日程について報告された。

5. 2026 年度予算（資料 5）

伊藤会計委員に代わり笹井常務委員長より、資料をもとに報告があった。2026 年度の総会の事務局旅費については、現地実行委員会の希望により、討論会予算から支出することが報告された。

6. 2025 年度日本粘土学会 学会賞等選考結果（資料 6）

学会賞等選考委員会から報告のあった受賞候補者について審議を行い、学会賞は岡田友彦会員、功績賞は伊藤雅一会員、奨励賞は菊池亮佑会員、技術省は株式会社ホーゲン、論文賞については、粘土科学は太田征志ら(2024)63 巻 2 号 p.23-32、Clay Science は、Kyosuke Arakawa ら（2024）28 巻 3-4 号 p31-37 に決定した。

7. 2025 年度日本粘土学会学術振興賞選考結果（資料 7）

本年度は応募者がいなかったため、受賞者 0 名との報告があった。

8. 2025 年度総会の開催日時と形式について（資料 8）

笹井常務委員長より、2025 年度総会は、2025 年 9 月 10 日（水）産業技術総合研究所 臨海副都心センターの別館会議室 1.2 において開催することが報告された。

9. 第 68 回粘土科学討論会準備状況について

(1) 第 68 回粘土科学討論会

鈴木討論会実行委員長より、現時点で一般 72 名、学生 28 名の計 100 名の申し込みがあり、口頭発表 26 件、ポスター発表 28 件、特別講演 1 件、シンポジウム 5 件であることが報告された。また、変更点として、発表会場は 1 会場とすること、懇親会はグラントニッコー東京台場の 29 階で行うことが報告された。さらに、講演要旨の公開日は 9/4（月）を予定

しいることが報告された。総会の開始時間は 11:45 分開始になった。粘土科学 2 号への掲載記事は 7 月末までに入稿することになった。

(2) 第 68 回粘土科学討論会シンポジウム（資料 9）

渡邊シンポジウム企画委員より、資料をもとに 5 名の講演について報告があった。

(3) 見学会について

高木討論会実行委員より、9 月 12 日に開催すること、つくばエクスプレスのつくば駅よりバスで笠間市の採石場や窯元の見学を行うことが報告された。

10. 2026 年度日本粘土学会常務委員会・理事会開催日程について

笹井常務委員長より、第 1 回理事会(9/10)、第 1 回常務委員会(9/11)、第 2 回常務委員会・理事会(1/24)、第 3 回常務委員会・理事会(7/11)、第 4 回常務委員会・理事会(8/15)を予定していることが報告された。

11. 第 6 回 Asian Clay について（資料 10）

佐藤会長より、2028 年の第 6 回 Asian Clay は、2028 年 5 月 28 日～5 月 31 日（水）に札幌コンベンションセンターで開催することが報告された。今後、日本粘土学会の主催で開催する方向で運営組織作りを進めていくとの方針が提案された。

12. その他

- ・佐藤会長より、次年度のシンポジウムは粘土に関連する様々な分野の方が一堂に会し、意見交換ができるようなシンポジウムを企画して頂きたいとの要望があった。
- ・中戸副会長より、日程調整で考慮すべき学会の情報が LOC 交代時に完全には引き継がれず、考慮する学会数が経年的に減っているように思われる、との意見があった。
- ・佐久間広報委員長より、講演要旨から著者に直接連絡できるように、任意で要旨に連絡先を書いて頂くことになっているが、今後、どの様にするのかを相談させて頂きたいとの要望があった。

以上、審議の上、承認された。

報告事項

1. 日本粘土学会 70 周年記念事業「みんなが知りたいシリーズ 粘土の疑問 50」の編集について（資料 11）

中戸副会長より、2026 年の 70 周年事業として進めている「みんなが知りたいシリーズ 粘土の疑問 50」の進捗状況について報告があった。出版社から提起された 50 の疑問について、粘土科学の 6 分野の編集員により、内容の精査や代替え案の提案を行い、執筆者候補者の選定を行ったことが報告された。また、現在、コラムについて編集者と調整を行っていることが報告された。

2. その他
特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

2025 年 7 月 12 日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長	<u> 笹井 亮 </u>	⑨
監 事	<u> 志々目 正高 </u>	⑨
監 事	<u> 高 木 哲 一 </u>	⑨